



グッドライフアワード

グッドライフのヒント・2015



環境と社会によいこと、
ここにつまっています

What's Good Lif





＼グッドライフアワードって？／

グッドライフアワードは、全国各地で「環境と社会に良いこと」に取り組むみなさんの活動を応援するためのアワードです。最優秀賞、優秀賞、グッドライフ特別賞には環境大臣賞が贈られます。

しかし、グッドライフアワードは賞だけのアワードではありません。

＼応募取り組みはすべて公式サイトで公開／

応募されたすべての取り組みは、さまざまな社会の課題解決への事例として、グッドライフアワードの公式サイト、及び公式Facebookページで紹介しています。

社会を変えるための取り組みは、より多くの方にその存在や内容を知っていただくことで、さらに大きな可能性が開けます。また、環境の変化や社会の状況に危機感を抱き「自分も何か始めたい」と考えている人たちにとって、みなさんの事例がヒントとなり、スタートを切る勇気を与えることができるかもしれません。

＼活動団体同士のつながりが生まれる／

Facebookはもちろん、表彰式と併せて行われるシンポジウムなどを通じて、活動団体同士の横のつながりが生まれます。応募や受賞が終了してもそのつながりは継続していきます。

グッドライフな活動をしている他団体とのつながりがあることで、情報の交換はもちろん「グッドライフ」という同じ志を持つ人たちとの心の交流が生まれます。それは活動の励みになっていくことでしょう。

＼メディアでの注目が活動を活性化／

第2回グッドライフアワードで環境大臣賞最優秀賞を受賞した『あきた森の宅配便』。代表の栗山奈津子さんに、受賞後の「変化」についてお話を伺いました。

「環境大臣賞を受賞してすぐに、秋田県知事にご報告することができ、地元紙などで取り上げていただきました。その後、全国ネットのテレビ番組も取材に来ていただけるようになり、秋田の天然山菜の魅力を知っていただくことができたと感じています」。

取材の度に山の名人のみなさんに出演をお願いすることを「大変かな」と心配していたという栗山さん。でも、おばあちゃんたちは「奈っちゃんに頼られて、こうしてテレビの取材を受けることが、また元気の素になる」と楽しんでいらっしゃるそうです。

＼応募は企業、NPO、任意団体だけでなく、個人でも／

グッドライフな取り組みを行っている企業、NPO、各種団体だけでなく、学校や個人でも応募は可能です。

グッドライフは身近なところにもあると思います。あなたのグッドライフを社会で広く共有することで、みんなのグッドライフにしていきませんか。



第2回

グッドライフ アワード

Good Life Award 2015



第2回グッドライフアワードは、2014年11月6日から2015年1月26日まで募集し、合計135件の応募がありました。ウェブ上での国民投票を経て、最優秀賞1件、優秀賞3件、グッドライフ特別賞6件が環境大臣賞を受賞されました。表彰式は2015年3月14日に東京大学伊藤謝恩ホールで開催。第1回に引き続き、全国各地から優れた取り組みが多数応募され、グッドライフの広がりを実感しました。





1



6



2



3



7



4



5



8



第2回グッドライフアワード
環境大臣賞 最優秀賞

天然山菜採り代行サービス ～山のめぐみを、おすそ分けっ！～

あきた森の宅配便

2回目の実施となった『グッドライフアワード2015』で環境大臣賞最優秀賞を受賞したのは『あきた森の宅配便』の『天然山菜採り代行サービス ～山のめぐみを、おすそ分けっ！～』でした。拠点は十和田湖に面した秋田県小坂町。雪解けの季節を迎えた山菜のふるさとを訪ねてきました！

秋田県鹿角郡小坂町

<http://www.akita-mori.com/>

<https://www.facebook.com/akitamori.takuhaibin>

- 1) 集合写真では緊張気味だった名人のみなさん。2) 雪解けとともに旬を迎えるふきのとう 3) 食卓の上にはたくさんの山菜料理が並びました！
4) 『あきた森の宅配便』代表の栗山奈津子さん。5) 採ってきた山菜を出荷する状態に整える 6) 50kgほどの山菜を背負って山を降りてくることもあるそう
7) おまがりたけのたけのこ 8) 天然のうど 右ページ)取材スタッフを迎えてくれた「山の名人」のみなさんと、代表の栗山奈津子さん。(2, 6, 7 撮影:小松ひとみ)



「山の名人」が採ってきた天然山菜をお届け！

『あきた森の宅配便』は、十和田湖がある秋田県小坂町周辺で採れた天然山菜のネットショップです。最近では、わらび、うどなどの山菜には栽培ものもたくさん出回っていますが、天然の山菜は野生ならではの豊かな風味があります。ただし、奥深い山に分け入って山菜を採取するのは、簡単なことではありません。

代表の栗山奈津子さんのまわりには、昔から生活の一部として旬の季節の山に入って山菜を採る伝統がありました。実のおばあちゃんであるキサさんをはじめ、ご近所のおじいちゃん、おばあちゃんが「山の名人」として、注文があった山菜を採ってきてくれるのです。さらにはクルマで30分ほど走った大館市内に『陽気な母さんの店』という農家さんが直販する店があり、70名ほどの農家のおかあさんたちも「山の名人」として協力してくれることになりました。

『陽気な母さんの店』の石垣一子会長は「通信販売でもものを見ないで買ってくれるんだから、めったに人が入らない山奥まで入って、とびきりおいしい山菜を採ってくるんだよ」と教えてくれました。たとえば、天然のねまがりたけは熊の好物でもあり「熊が食べるか人が採るかの競争だよ」とも。

天然山菜を採る場所は、名人それぞれの秘密で、家族にさえも詳しい場所は教えないとのこと。また、いくら注文があっても採り尽くしてしまうと次の年には採れなくなってしまいます。名人ならではの塩梅で山の恵みをいただいて届けてくれる、まさに「おすぞ分けっ!」と呼ぶのがふさわしいサービスなのです。

豊かな自然と、山の名人の元気が成功の秘訣！

秋田県小坂町は、鹿角盆地の北端に位置しており、十和田湖がある青森との県境の町。かつては小坂鉱山で栄え、最近では鉱山の技術を活かしたりサイクルの町として知られています。町の中心部から十和田湖へ登る道の周囲は深い森。まずは、豊かな自然に恵まれていることが『天然山菜採り代行サービス』が成功しているポイントです。

とはいえ、山菜が採れる森は日本のあちこちにあるはずですが、恵まれた自然環境に加えて、天然山菜採り代行サービスを支える山の名人のみなさんの存在が、この取り組みにはとても大切です。取材に伺った日には、奈津子さんの実のおばあちゃんである川口キサさんと、キサさんの三姉妹である中村イサさん、秋本ミヨさん。さらに、わらび採りが得意な畠山亮子さん、たけのご採り名人の川口光一さんが集まってくれました。

「私たちは普段はゆっくり歩くけど、山の中に入ったらカモシカみたいに速いんだぞ」という意味の言葉を地元の方言で話してくれたのは三姉妹の長女であるイサさん。名人たちの元気があってこそこの取り組みであると同時に、この天然山菜採り代行サービスが、名人のみなさんの楽しみにもなっているのです。

ちなみに、山の名人として協力してくれている大『陽気な母さんの店』も、平成19年度の『農山漁村女性チャレンジ活動表彰』で最優秀賞(農林水産大臣賞)を受賞しています。大好きなふるさとを元気にしたいという奈津子さんの思いが起点となり、そのために行動し、協力してくれる山の名人をはじめとするたくさんの人たちの協力が、この取り組みを成長させてきたといえるでしょう。



環境大臣賞 優秀賞・グッドライフ特別賞

グッドライフアワード2015の環境大臣賞は、最優秀賞「天然山菜採り代行サービス ～山のめぐみをおすそ分けっ!～」(前頁参照)のほかに、優秀賞3点、グッドライフ特別賞6点が選ばれました。

日本各地から選ばれたプロジェクトは、それぞれ非常にユニークに「環境と社会に良い暮らし」に取り組んでおられます。

優秀賞

- 森と命を繋ぐ歩道橋「アニマルパスウェイ」の開発と普及
- クロマツお助け隊!東北に白砂青松をもう一度「海岸林再生プロジェクト10ヵ年計画」
- 「希望の綿」福島オーガニックコットンプロジェクト

グッドライフ特別賞

- 市町村と企業の協働による「ウッドスタート」
- エコマジシャン ミヤモ
- キッチンから資源節約が見える化「ローフトフード」
- 英田上山棚田再生プロジェクト
- SATURN project
- 絶滅危惧種をすくう社会の仕組み：絶滅魚カワバタモロコ再生プロジェクト



環境大臣賞 優秀賞

森と命を繋ぐ歩道橋 「アニマルパスウェイ」の 開発と普及

アニマルパスウェイ研究会

私達が便利に利用している道路や鉄道などの連続する構造物により困っている動物達が沢山います。特に森の中を枝から枝を通り道としているニホンリスやニホンヤマネなどの樹上性の野生動物は、分断された森を行き来出来なくなると、遺伝子の劣化を招き、ロードキルに会うこともあります。当プロジェクトは余り顧みることが無いこれらの動物のための歩道橋「アニマルパスウェイ」を開発し、全国に普及する取組を行っています。

山梨県北杜市高根町

<http://www.animalpathway.org/>



環境大臣賞 優秀賞

クロマツお助け隊！ 東北に白砂青松をもう一度 「海岸林再生プロジェクト 10ヵ年計画」

公益財団法人オイスカ

東日本大震災で東北の海岸林は約3700haが被害を受けました。海岸のクロマツは、津波の力を減衰させる防波堤という役割だけではなく海の塩分や海岸の砂が風によって内陸に運ばれないよう、人々の手によって植えられ何百年も守られてきたものです。宮城県名取市の住民たちとともに100haの海岸林を再生させるべく、被災地住民の生計支援を兼ね、クロマツを種から育て、海岸に植える活動を行っています。

宮城県名取市

<http://www.oisca.org/kaiganrin/>

<https://www.facebook.com/OISCA>

環境大臣賞 優秀賞

「希望の綿」 ふくしまオーガニックコットン プロジェクト

特定非営利活動法人 ザ・ピープル



本プロジェクトは、東日本大震災後に福島県いわき市において、福島第一原子力発電所事故による風評被害・後継者不足等により農業を営んでいくことが難しくなった畑をお借りして、環境に配慮した方法でコットンを栽培しています。地元だけでなく延べ10,000人以上の援農ボランティアさんに支えられて、いわき市・広野町にある25か所の畑で在来種の茶綿を育て、さらに人形やタオルハンカチ等の商品を作るところまで行っています。

福島県いわき市

<http://fukushima-oc.jp/>

<https://www.facebook.com/foc.project>



環境大臣賞 グッドライフ特別賞

市町村と企業の協働による
「ウッズスタート」

認定NPO 法人
日本グッド・トイ委員会

子どもの健やかな成長と家族の安らぎを支えるために、暮らしや社会の中に木を取り入れ、木の力を借りることで推進するウッズスタート。市町村と企業にウッズスタート宣言をしてもらうことで、誕生祝品、学校机などの地産地消を促すことや、保育園・幼稚園、大型店舗、集合住宅などの内装木質化、赤ちゃん木育広場の設置などのインフラ整備を進め、健康と環境を志向する生活様式の確立とわが国の森林資源の活用を促します。

北海道、東京都、岐阜県、岡山県、熊本県、香川県、宮崎県、良品計画、アウディジャパン、三井不動産、三菱地所レジデンスなど

<http://mokuikulabo.info/>



環境大臣賞 グッドライフ特別賞

エコマジシャン ミヤモ

エコマジシャン ミヤモ

「マジックを通じた環境教育」 複雑で難解な環境エコ問題を、プロマジシャンという職業的観点から、マジックというソフトを利用して、分かり易く楽しく伝えていくというものです。様々な年齢層に応じて、マジックを通してエコについて考えよう! マジックを通してエコについて考えるきっかけにしたい! というコンセプトで活動中です!

東京都練馬区

<http://miyamomagic.jimdo.com>



環境大臣賞 グッドライフ特別賞

キッチンから 資源節約を見える化 「ローフード」

一般社団法人
スマート・ウィメンズ・コミュニティ

牛肉100gで水を550リットルも消費するって知ってますか？普段私たちが口にする食材は、ライフサイクルにおいてさまざまな環境負荷がかかっています。ローフードとは、LOW FOOTPRINTED FOODの略で私たちが考えた造語。食卓から、CO₂や水のフットプリントを削減できるように以下の取組みを行ってきました。

- 1) 食材のライフサイクルにおけるCO₂、水消費量をわかりやすく見える化。
- 2) 環境負荷の低い食材を使ったクッキング講座の開催、普及啓発など。

神奈川県横浜市

<http://yokohama-cruiz.org/> (連携サイト)

<https://www.facebook.com/smartwomens>



環境大臣賞 グッドライフ特別賞

英田上山棚田 再生プロジェクト

NPO 法人 英田上山棚田団

岡山県美作市の上山に広がる慶応年間から築かれた面積100ha、8,300枚の棚田。過疎高齢化により荒廃していましたが、2007年から地元住民と都市住民による草刈りと村に伝わる野焼きの復活により、2014年までに14haを再生しました。地域に息づく文化や伝統に加え、限界集落から新しい社会を創造するにあたり「独立国」を志し、再生可能エネルギーや地域医療等の拡充等を進め、他の中山間地域や台湾・ミャンマーなど海外との連携も深めています。

岡山県美作市

<http://tanadadan.org/>

<https://www.facebook.com/tanadadan>





環境大臣賞 グッドライフ特別賞

SATURN project

森田屋

江戸時代から呉服商を営み、戦後アパレルメーカーに転換した民間企業発のプロジェクトです。障害者自立支援法の施行と同時に、民間企業において茨城県初の障がい者への就労支援を開始しました。

施設利用者の社会との関わりの為に工場をオープン化し、洋服の製造工程で出る端切れを利用した商品の企画・販売、学校や美術館等で環境問題を身近に捉えるためのアートワークショップによる啓蒙活動、美術館やギャラリーで作品展示も行っていました。

茨城県笠間市

<http://moritaya11.web.fc2.com>

<https://www.facebook.com/ut4011>



環境大臣賞 グッドライフ特別賞

絶滅危惧種をすくう 社会の仕組み： 絶滅魚カワバタモロコ 再生プロジェクト

カワバタモロコ増殖・放流連絡会議

徳島県ですでに絶滅したと思われていた小型淡水魚カワバタモロコが2004年に再発見。これを再び絶滅させまいと、産官学民13部局が連携し、かかわる人や機関それぞれがメリットを見出させるように、絶滅危惧種を「多用途に使える県民の財産」と位置づけました。そして、研究・飼育・環境学習などに利用しながら数を増やし生息地に返すプロジェクトです。今では5機関で飼育。絶滅危惧種を守る社会的な"分業"の仕組みができました。

徳島県鳴門市、徳島市、阿南市

<http://www.pref.tokushima.jp/docs/2013040200079/>

実行委員会特別賞「環境と学び」特別賞

山川里海(やまかわさとみ)の 体験作文新作狂言

やまかわさとみ事務所

木曾三川流域の小中学生を対象に水源林の保全活動と体験作文セミナーを企画運営。集大成として、新作狂言を制作しました。

愛知県津島市



実行委員会特別賞「環境と学び」特別賞

新座っ子ぱわーあっぷくらぶ にいざネイチャークラブ

環境教育支援ネットワークきづき

四季折々の動植物の調査や黒目川の生物や水質調査などを通して「きづき」・「共有」・「振り返り」を重視した活動を行います。

埼玉県新座市



実行委員会特別賞「環境と学び」特別賞

未来の地球を守るのは ぼくたち! わたしたち! おびひろ 環境にやさしい活動実践校

おびひろ環境にやさしい活動実践校

帯広市では、「環境にやさしい活動実践校」を認定。現在、小学校11校、中学校14校、市立高校1校が認定されています。

北海道帯広市

<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/shiminkankyoubu/kankyoka/>



実行委員会特別賞「環境と学び」特別賞

学生が発信! 食べ物の「もったいない」を知って、 学んで、減らそうプロジェクト

フードバンクかごしま学生チーム

家庭内からの「食品ロス」削減広く一般市民に周知するために、鹿児島県内の大学生を中心に新しいアイデアで取り組みます。

鹿児島県鹿児島市

<http://ksnk.org>

<https://www.facebook.com/foodbank.k>



実行委員会特別賞

実行委員会特別賞「環境と暮らし」特別賞

キャニオングで世界をリフレッシュ

株式会社キャニオンズ

カラダひとつで滝を下っていくスポーツ【キャニオング】。都会の人々に、自然との一体感や達成感を味わってもらいます。

群馬県みなかみ町

<http://www.canyons.jp>

<https://www.facebook.com/Japan.Canyons>



実行委員会特別賞「環境と暮らし」特別賞

表浜 BLUEWALK

虹のとびら 表浜ブルーウォークグループ

愛知県表浜海岸の約50km を楽しみながら、学びながら真夏に清掃する活動です。8年間でのべ8000人が参加！

愛知県豊橋市および愛知県田原市

<http://nijinotobira.org/>

<http://www.facebook.com/omotehamabluewalk>



実行委員会特別賞「環境と暮らし」特別賞

子育てのお母さんを支援しよう！

静岡市沼上資源循環学習プラザ

マタニティウェア・ベビー服・子供服などのリユースマーケットを平成23年から開催。延べ4587人の市民が利用しました。

静岡県静岡市

<http://www.shizuoka4r.jp/numagami/>



実行委員会特別賞「環境と暮らし」特別賞

エコ民家におけるエコライフ実践

滋賀県立大学まちづくり研究室(鶏飼研究室)

彦根市石寺町下石寺集落のエコ民家で、里山バイオマス利用拠点として集落住民と連携、里山資本主義を実践しました。

滋賀県彦根市

<http://www.eco-minka.com/>

<https://www.facebook.com/ecominka>



実行委員会特別賞「環境と福祉」特別賞

「MOTTAINAI」で 安心・安全な循環型社会を実現

一般社団法人中央ライフ・サポートセンター (CLSC)

未消費のまま廃棄される食品を福祉活動に寄付するなどして食品ロスを減らす活動に取り組めます。

群馬県前橋市

<http://clsc.web.fc2.com/>



実行委員会特別賞「環境と地域づくり」特別賞

陸奥湾の海と山をつなぐ植樹祭

陸奥湾の高温からホタテを守る植樹祭実行委員会

ホタテ貝をへい死から守ろうと、陸奥湾の周りに広葉樹を植える活動です。

青森県平内町

<http://preserve.shirakami.gr.jp/>



実行委員会特別賞「環境と地域づくり」特別賞

震災で失われた 松島湾のアマモ場再生

松島湾アマモ場再生会議

湾全体の生態系や海的生活文化再生を目的とし、東日本大震災により壊滅したアマモを再生させる活動です。

宮城県松島湾

(塩竈市・東松島市・多賀城市・七ヶ浜町・利府町・松島町)

<http://matsushima-amamo.jimdo.com/>



実行委員会特別賞「環境と地域づくり」特別賞

PresentTreein宮古 ～森・川・海と人が共生する森づくり

認定NPO 法人環境リレーションズ研究所

漁場復興と地元振興を目指し、地元民と都市部住民で「森・川・海と人が共生する森づくり」を実施。約18,000本を植樹しました。

岩手県宮古市

<http://www.presenttree.jp>

<https://www.facebook.com/presenttree2005>



実行委員会特別賞

実行委員会特別賞「環境と地域づくり」特別賞

福島県いわき市の耕作放棄地を元に戻し地域コミュニティを再生!

特定非営利活動法人 green bird

福島県いわき市の耕作放棄地で、現地と東京からのボランティアが共に作物を作り、地域コミュニティを再生強化していきます。

福島県いわき市久ノ浜

<http://www.greenbird.jp/>

<https://www.facebook.com/greenbird.page>



実行委員会特別賞「環境と地域づくり」特別賞

帰りたくなる。「おかえり」の待つ佐渡島へ。

早稲田大学学生環境NPO環境ロドリゲス REC

新潟県佐渡市の自然環境を活かした地域活性を目的として活動。佐渡旅、島・羽二生集落で防波堤アートやビオトープ整備など。

新潟県佐渡島

<http://www.rodorigues.com/>

<https://www.facebook.com/rodo.jp>



実行委員会特別賞「環境と地域づくり」特別賞

カシニワ制度

柏市

荒れた林やの空き地を、市民団体会の手で地域共有の庭に甦らせたり、自分の庭を一般公開する取り組みを市がサポートします。

千葉県柏市

<http://www.city.kashiwa.lg.jp/living/>

[living_environment/1384/1387/](http://www.city.kashiwa.lg.jp/living_environment/1384/1387/)



実行委員会特別賞「環境と企業」特別賞

郷土の森づくり

新日鐵住金株式会社

各地の製鉄所で「郷土の森づくり」を推進。近くの歴史ある神社の土地本来の自然植生を調べ、鎮守の森を製鉄所構内に再現しました。

大分製鉄所をはじめとする国内16事業所

<http://www.nssmc.com/csr/social/forest.html>



実行委員会特別賞「環境と企業」特別賞

くぬぎの森再生プロジェクト

石坂産業株式会社 やまゆり倶楽部

三富地域の自然環境保全推進を目的に、農家が利用していた里山を「自然体験の機会の場」として新たな里山になりました。

埼玉県入間郡三芳町

<http://www.kankyo-school.com/>

<http://www.yamayuri-club.com/>

<https://www.facebook.com/567787296595267>



実行委員会特別賞「環境と企業」特別賞

世界遺産五箇山合掌造り集落の茅場再生

NEXCO 中日本グループ

地域を知り、その地域の課題解決に向けて、グループ社員がボランティアとして参画し応援するプロジェクトです。

富山県南砺市菅沼集落、楮集落

http://www.c-nexco.co.jp/corporate/csr/social_report/society/page03.html



実行委員会特別賞「環境とデザイン」特別賞

水府コイノボリプロジェクト 「SCOI-スコイ-」

水府コイノボリプロジェクト

「鯉のぼりまつり」で処分される鯉のぼりを活用し、シッポから頭までアートしよう! と始まったプロジェクトです。

茨城県常陸太田市

<http://hitachiota-air.com/>

<https://www.facebook.com/air.hitachiota>



実行委員会特別賞「環境とデザイン」特別賞

民族衣装サリーの アップサイクルプロジェクト

VEGANIE

人口12億人のインドで廃棄されているサリーを利用した商品製作。製作は貧困地域の女性が担当製作するなどしています。

東京都港区、インドカルカッタまたはデリー

www.veganie-shop.com

<https://www.facebook.com/veganieshop>



実行委員会特別賞

実行委員会特別賞「環境と食農」特別賞

猪鹿庁

猪鹿庁

鹿や猪を害獣ではなく地域資源と考え、6年前に猟師の免許を取得し、里山保全組織「猪鹿庁」を設立。『里山と生きる』が理念です。
岐阜県郡上市

<http://inoshika.jp/>
<https://www.facebook.com/inoshikatyo>



実行委員会特別賞「環境と食農」特別賞

北加賀屋みんなのうえん

NPO 法人Co.to.hana

まちなかの空き地を使った、「みんなが力を合わせて育てていく農園」。農や料理、ものづくりの専門家と連携しています。

大阪府大阪市
<http://minnanouen.jp/>
<https://www.facebook.com/minnanouen>



実行委員会特別賞「環境と食農」特別賞

**本州の最北端で
「死んだ畑」復活を叫ぶ
～耕作放棄地再生事業～**

SHIMOKITA HOPE FARMER PROJECT

「耕作放棄地」の割合が東北地方の中でも非常に高い青森県下北半島で、耕作放棄地再生事業を行う活動です。

青森県むつ市及び青森県下北半島
<https://www.facebook.com/shimokitahopefram>



グッドライフアワード2015 シンポジウム&表彰式

2015年3月14日(土)、東京都文京区の東京大学構内にある『伊藤謝恩ホール』にて『グッドライフアワード2015シンポジウム&表彰式』が開催されました。

会場には、環境と社会を変えていく活動に関心をもつたくさんの方々にご来場いただき、大いに盛り上がりました。



多彩なゲストによるディスカッション1

『ディスカッション1』には、『里山資本主義』の共同著者でNHK チーフプロデューサーの井上恭介さん、島根県海士町復興のキーパーソンとして活躍する『株式会社巡の環』の阿部裕志さん、環境問題への関心が高いタレントのはなさんなど多彩なゲストが参加。第一回アワードで最優秀賞を受賞した『三陸ボランティアダイバーズ』代表の佐藤寛志さん、優秀賞を受賞した『楠クリーン村』を運営する『学生耕作隊』理事長の高田夏実さんも交え、有意義なディスカッションとなりました。

候補者プレゼンテーションと表彰式

続いて候補取り組みの代表者によるプレゼンテーションが行われました。10の取り組みは、地域の問題点や特性によってユニークな視点から、エコ&ソーシャルな課題の解決を目指すものばかり。それぞれの取り組みを代表して会場に集まった人たちからも「参考になった」「刺激を受けた」といった声が聞かれました。そして、いよいよ表彰式です。今回最優秀賞を受賞したのは『天然山菜採り代行サービス ～山のめぐみを、おすそ分けっ!～』（あきた森の宅配便）でした。おめでとうございます！

受賞者とゲストが共に語り合うディスカッション2

最優秀賞、優秀賞の受賞取り組み代表者4名と、井上恭介さん、阿部裕志さん、そして、実行委員を代表して国立環境研究所主任研究員の藤野純一さんによる『ディスカッション2』が行われました。『天然山菜採り代行サービス』に対して「代行という概念がすばらしい!」と海士町の阿部さんが評価するなど、今後、全国でさまざまな活動を展開する人たちにとっても必見の有意義な内容でした。

終了後には懇親会も。

『シンポジウム&表彰式』終了後は、ホール内のスペースで受賞者や実行委員のみなさんがフランクに語り合う『懇親会』も催されました。グッドライフアワードのスローガンでもある「みんなの力で社会を変える」ために大切なことが何なのか。また、それぞれの活動に取り組む人たちの情報交換がいかに大切かといったことが、改めて感じられる催しとなりました。